

## 自由応募分科会3 「ベトナム社会の上位層」

### 報告3

伊藤未帆（神田外語大学）

#### 移行経済期ベトナムにおける大卒労働者のキャリアパス

(The career paths of university graduates during economic transition in Vietnam)

#### 【報告要旨】

今日、ベトナムをはじめとする多くの移行経済国において、高学歴若年層の失業問題が深刻化している。経済成長という面で見ればそれほど低いパフォーマンスを示しているわけではないにもかかわらず、若者たち、とりわけ大学をはじめとした高等教育機関を卒業した高学歴労働者たちが労働市場に溢れている。こうした状況の一方で、人々の教育熱はとどまるところを知らず、教育投資は年々拡大を続けている。高学歴を獲得しさえすれば、将来の地位達成が約束されたかのようにみなす「学歴信仰」は、経済的転換期を迎えた現在にあってもなおベトナム社会の中で強い影響力を保持し続けている。

大卒者労働市場の混乱が明らかになる一方で、実際のところ、移行経済期のベトナムにおける高学歴取得者たちが、どのように自らのキャリアを形成しているのか、また、大卒者労働市場がどのような仕組みをもっているのかという点については、これまで十分に明らかにされてこなかった。

本報告では、今日のベトナムにおける大卒労働市場の状況を、中央統制経済期に行われていた職業分配制度との関連で解き明かすことを目的とする。まず、中央統制経済期において行われていた職業分配制度の仕組みを明らかにしたうえで、これによって、学歴と将来の地位達成を結びつける経路が形づくられていったことを示す。次に、1987年度より導入された高等教育の大衆化路線によって、それまでとは異なった新たな大卒労働者層が作り上げられたことを示したうえで、2016年1月から2月にかけてハノイ市内で実施した大卒者を対象とするサンプル調査の結果にもとづいて、彼らのキャリアパスのあり方を明らかにする。最後に、今日のベトナムにおける大卒者労働市場の特徴を結論付けるとともに、その中で生じたひずみが、将来的に、社会的不平等に対する不満へと転化していく可能性についても指摘したい。

(772文字)